

町内の会社 紹介します

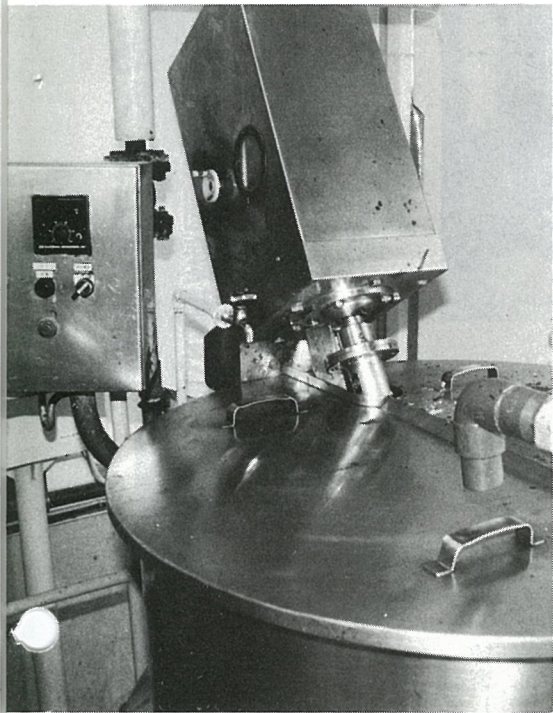
しせん 四川食品工業株式会社

所在地 橋 場

代表取締役 百瀬 透氏

四川食品工業株式会社は、中華料理用のソースを作っている会社です。

会社で吟味したしょう油、みそ、ケチャップ、砂糖、塩、各種スパイスなど多くの材料を調合してそれぞれの料理に合ったソースが起き上がります。味付けについては、料理専門家の陳建民氏によるもので、スパイスなど原料の一部は中国からも取り寄せられ、食通の方がたにも好評を得ており、製造が間に合



この機械で材料がかくはんされる

わないような状態です。この会社で作られた中華ソースの多くは業務用に使われますが、東京、名古屋、大阪などの有名百貨店では家庭用としても売られています。

森工場長さんのお話

中華料理というと、油濃いというイメージが強いようですが、そんなことはありません。中華料理には植物性の油が主に使われるためビタミンC、E、リノール酸が多く含まれ、とても健康に良いです。おいしい中華料理を覚えていただきたいので、要望があれば各種団体などの調理実習もいたします。

(今までも、栄養士さんや学校給食会、婦人会などの調理実習の指導を手がけられたということです。)

昭和五十八年に光町で操業、現在に至っています。

町長 ひとごと

齊藤 讓

腹中書あり

早いもので「町長ひとりごと」を書きはじめてから今回で七回目になる。公務や雑事の合間に書いていような次第で、いつも原稿が遅れ広報担当には迷惑のかけ通しである。だから、活字になった文章を見る度に冷汗をかき思いであり、つくづくと内容のある文章を書き続けることの難かしさを痛感している。まして文章は、その人の識見の表現であるといわれ、これが不特定多数の人々に読まれると思つと、あたかも自分の器量が測られる心地がして一層気が萎なえてきたりもする。しかし、まがりなりにも今までもここは一番開直つて腹を決め、気負うことなくつれづれなるままに書き続けて、私の目方を測つていただこうと思つ。

遠慮のないご批判をお願いします

る次第である。今までも色々なご意見をいただいている。厳しいご意見もあれば、「毎月楽しみに読んでいるから頑張つて欲しい」という励ましのことばもある。そんな中で大変感動していることがある。それは、商工会長の藤城 博氏が再三にわたつて素晴らしい本を届けてくれることである。「町長も文章を書いてみるようだが、この本を読んで参考にしてみては。」と親切心で届けてくれるのである。藤城氏が大変な読書家であることは衆知のことであるが、日頃読書から遠ざかっていた私には、正に警鐘を聞く思いである。誠に有難いことで感謝に耐えない。ところで、氏からいただいたある本の中で「腹中書あり」という言葉が心に残つた。精神を陶冶やし生きた学問をするためには、腹中に書があるようでないといけない。頭の中の薄っぺらな大脳皮質にちよっぴり刻み込まれたようなものでは駄目で、わが

腹中に哲学、信念がある。万巻の書があるということになればならない。これは、急場の間に合わせようとしても駄目で、平素から備えておかなければいけない。私は心を揺すられる思いであつた。

若者の読書離れが叫ばれてから久しい。彼等の部屋には、あらゆる電化製品が揃つていない反面、書架の中味は心もとないほど寂しく、寒心に耐えない。およそ人格や識見は、その人の心の発露であり、心の源泉は読書によつて涵養かんようされるといつても言いすぎではあるまい。物や目の前の些細ささいな事象に心奪われることなく、しっかりと腹中に万巻の書物を貯える心がけをしなければならぬ。特に若者には、それを強く期待したい。

